

## 1.1 大学の学習・研究と情報

### 1.1.1 大学図書館の役割

大学生としてあるいは研究者として、学習・研究に必要な情報を得るために大学図書館は欠かせない存在です。大学図書館は、研究者によって生産された研究成果（論文・図書など）や、行政機関の公式資料など、学術的情報を中心とした資料を収集・保存し、それらを広く利用者に提供するという役割をもっています。

また、各分野の膨大な学術的情報を効率的に探索するためには、それらのタイトルや著者、概要などを収録したデータベースや資料目録といったツールが作成されています。図書館は、これらの情報探索ツールも可能な限り収集し、利用者に提供する役割を果たしています。

図書館は、様々な学術的情報と情報探索ツールとを備え、皆さんを求める情報へと橋渡しする「ゲートウェイ」となっているのです。 **図表 1-1 参照**

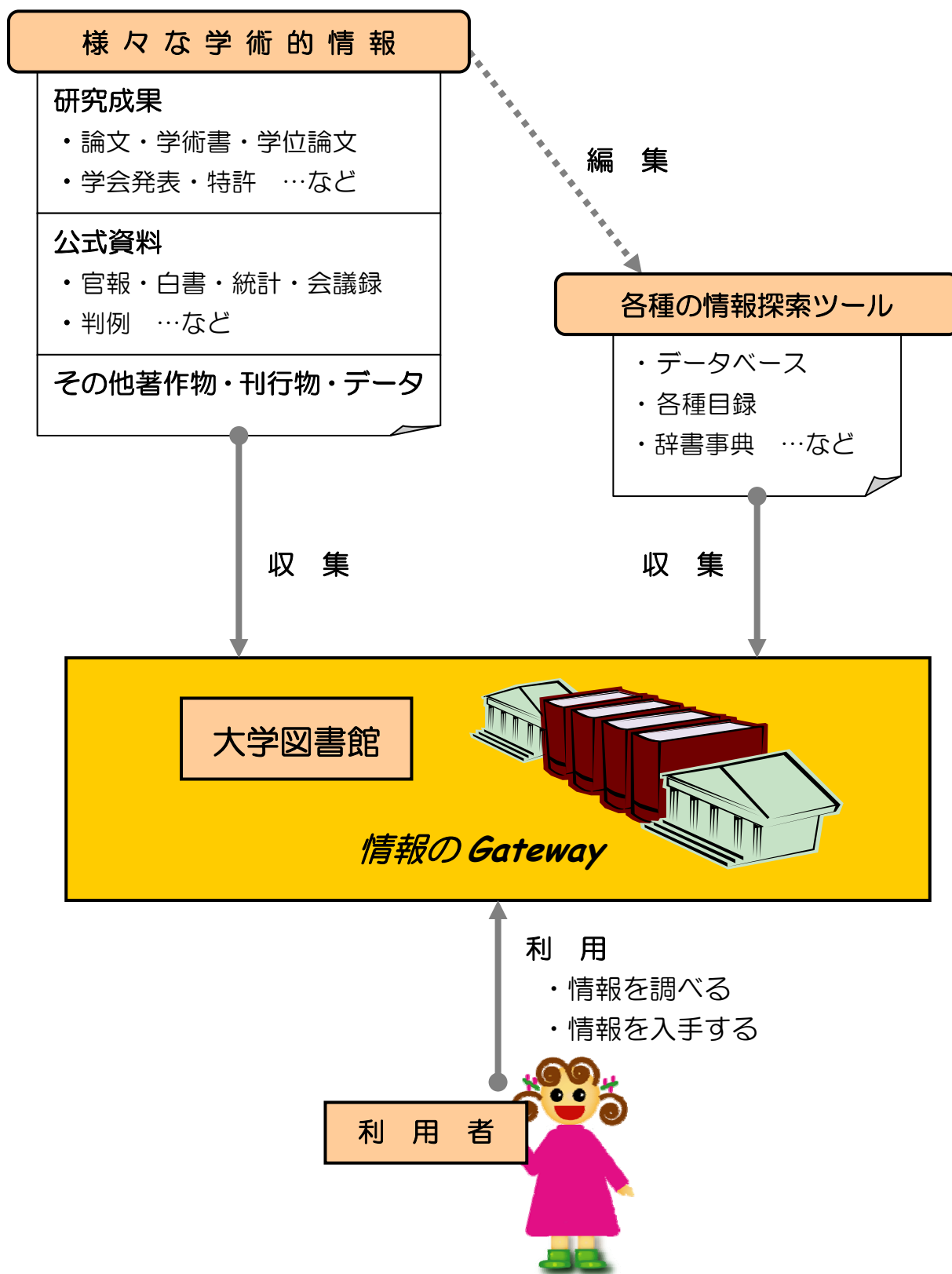
### 1.1.2 インターネットの位置付け

今やサーチエンジンは、無料で手軽に使える情報源として私たちの生活に欠かせない存在となっています。趣味や娯楽、生活上の様々な情報を知るために、無料のウェブ情報は非常に有用なものとなっています。また、手がかりがない事柄について調べるときの糸口として、サーチエンジンが強力な武器となることは、皆さんよくご存じだと思います。

しかし大学図書館では、サーチエンジンのほかにも有用なインターネット情報を購入し、学内の利用者に提供しています。例えば、最先端の研究成果が公表される学術雑誌については、電子ジャーナルとして購入し、ウェブで自由に利用できるようにしています。また、それら学術雑誌に掲載された論文を効率的に検索するためのデータベースを購入し、研究者・学生が自由に利用できるようにしています。これらは、無料のサーチエンジンからは入手できない情報なのです。 **4章参照**

さらに、インターネットからは利用できない情報が、ほかにも数多くあることを忘れてはいけません。例えば、授業で指定された教科書や参考書などの基本的な学習書、信頼できる情報を得るための専門事典、各分野で定評のある研究書など、世の中にはサーチエンジンからは得ることができない膨大な数の資料が存在します。そしてそれらは、図書館の目録を使うことで効率よく探し出すことができるのです。

**3章参照**



図表 1-1 大学図書館の役割

本書で紹介する各種情報探索ツールを使いこなせるようになれば、学習・研究上必要な資料を探索するのに、サーチエンジンよりも優れたツールが数多くあることが分かるでしょう。サーチエンジンが提供する玉石混淆の膨大なウェブ情報の中から、有用で信頼性のある情報を選び出すのは非常に困難です。また、検索結果の上位に位置する情報が、最も有用で信頼性の高いものであるとは限らないのです。

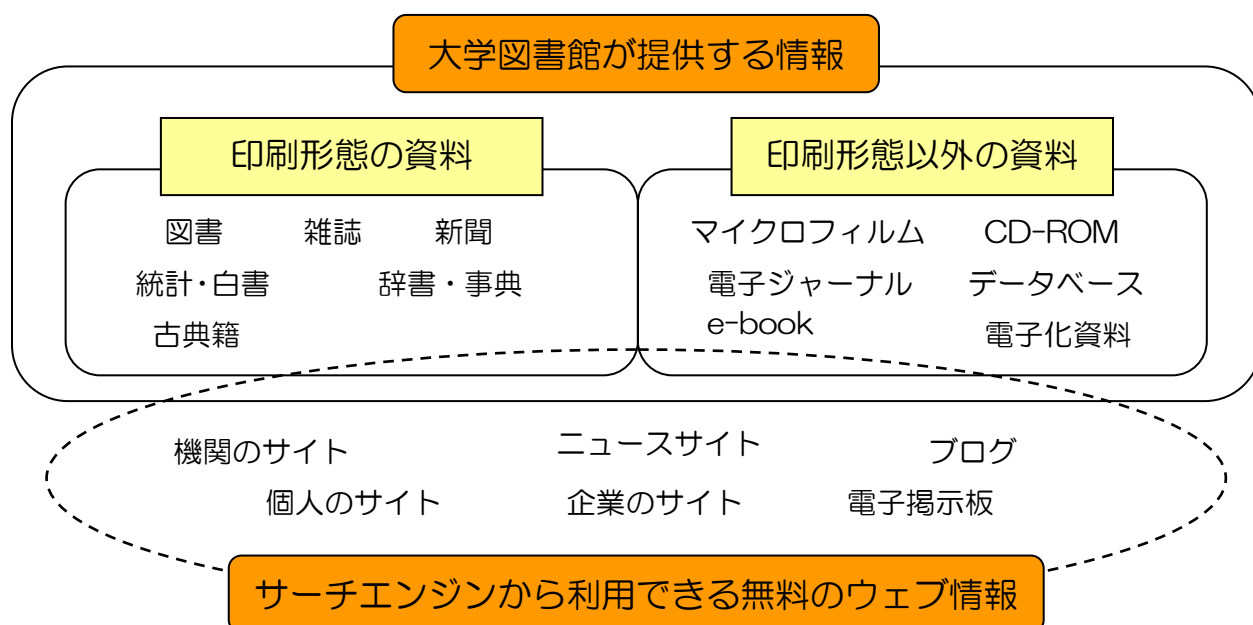
上記のようなインターネット情報の位置づけを念頭におき、大学生としてふさわしい情報探索の知識と技術を身につけてください。

### 1.1.3 大学図書館の資料

大学図書館が提供する資料には、印刷形態のものとそれ以外の形態のものがあります。印刷形態の資料としては、図書（単行書）や雑誌、新聞、統計・白書類、辞書・事典類などがあります。

また印刷形態以外のものとしては、マイクロフィルムやCD-ROM、インターネットで利用できるデータベース（1.2.4(3)参照）や電子ジャーナル（4.4参照）などのように電子形態でウェブからの利用が可能なものがあります。

以上に述べた大学図書館が提供する資料の多くは、サーチエンジンから検索することのできないものとなっています。これら有用な資料を使わずに、無料のウェブ情報だけで学習・研究を進めるのでは、学術的に価値のある成果を得るのは難しいでしょう。



図表 1-2 情報資源の全体像

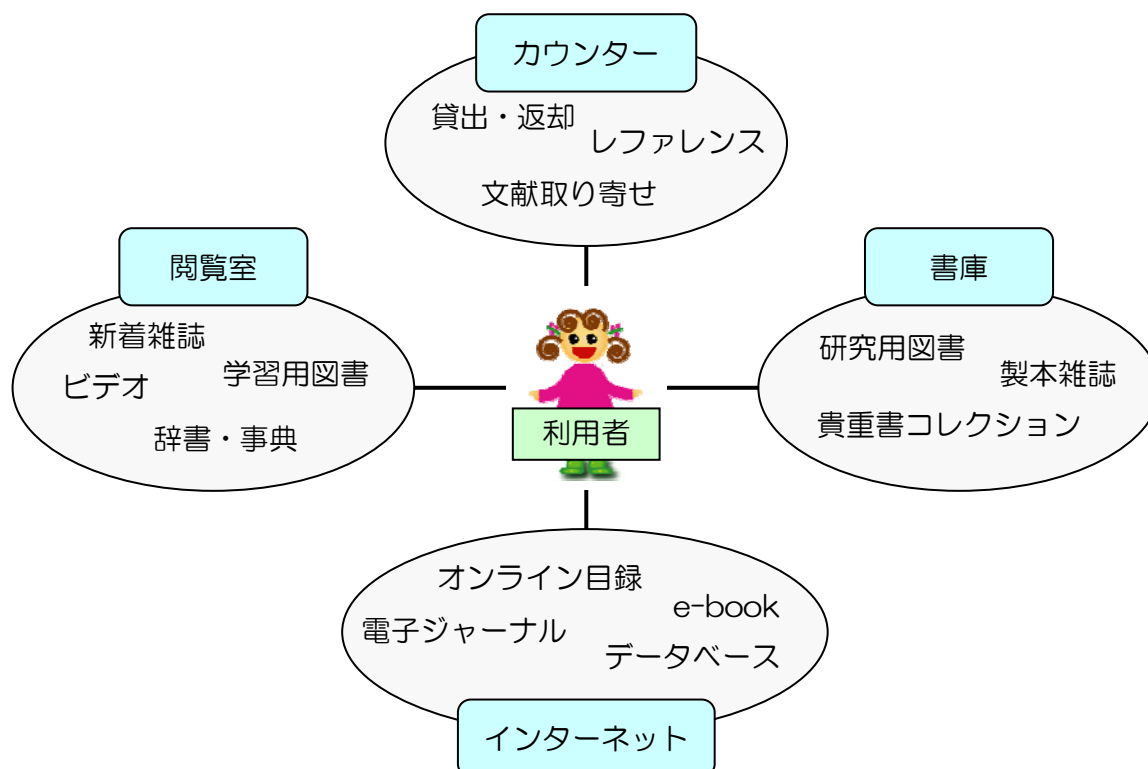
### 1.1.4 大学図書館の設備とサービス

大学図書館では、学生が自由に利用できるよう、学習室や閲覧室などのスペースに多くの閲覧機を用意しています。閲覧室には、主に学習用資料がそろえられており、新着雑誌を展示するための雑誌コーナーなどがあります。ほとんどの大学では、研究用資料は閲覧室ではなく、何十万冊も収容できる別の書庫に置かれています。製本された古い雑誌や貴重なコレクションなども書庫に保存されます。

また、利用者が各種サービスを受けられるよう、資料の貸出・返却のためのカウンター、情報収集の支援を行うレファレンス・デスク、他大学などから文献複写を取り寄せるための申込カウンター、所蔵資料の一部を複写するための複写機などがあります。

さらに、利用者が自分で所蔵資料の検索をするために、目録というものが用意されています。従来はカード目録でしたが、近年は利用者用のパソコンで検索できるオンライン目録が主流です。これに加えて、電子ジャーナルやデータベースを利用するためのパソコンを用意する図書館も増えてきました。

最近では、より便利に利用できるように、多くの大学図書館にて夜間開館や休日開館を行っています。また、来館しなくとも所蔵資料の検索や予約ができるよう、ウェブサービスの充実を進めつつあります。



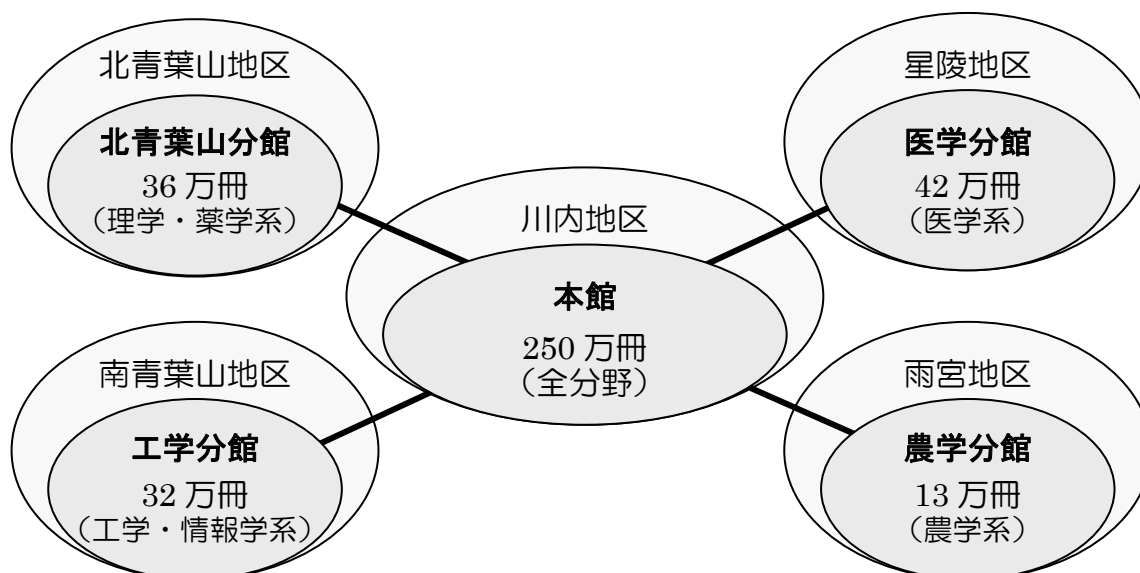
図表 1-3 大学図書館の設備モデル

## 1.2 東北大学附属図書館の概要と特色

### 1.2.1 図書館の構成と提供資料

東北大学附属図書館は、東北帝国大学創立4年後の明治44年（1911）に創設されました。創設当初、中央館（本館）だけであった図書館は、その後、学部やキャンパスの増加に伴って4つの分館が設置され、現在は下表の5図書館で連携したサービスを行っています。

本館は、全分野に関する学習用資料を所蔵するとともに、川内地区の人文・社会科学系研究者のための研究用資料を所蔵しています。その他の4分館は、それぞれの地区の専門分野に即した研究用資料を所蔵しています。



図表 1-4 東北大学の附属図書館

また、附属図書館のほかに、片平地区の研究所や各地区の研究科・学部には図書室が設置されており、それぞれ専門的な研究用資料を提供しています。

東北大学は大規模な総合大学であることから、学問分野全般にわたる資料を所蔵しています。所蔵冊数の合計は約370万冊となり、国内有数の大規模図書館となっています。

所蔵する資料のほか、文献探索のためのデータベースや電子ジャーナルの整備と提供を進めています。これらは、東北大学内でのみ利用できるよう契約して導入した有料の情報資源であり、学外からは基本的に利用できないようになっています。

東北大学の学生・研究者は、以上の図書館すべてを利用することができます。それぞれの図書館により利用時間や利用規則・貸出条件が異なりますので、利用の際に確認してください。また、研究科等に附属した図書室の利用可否については、事前に各図書室にお問い合わせください。付録6参照

■ 『総合案内』 東北大学附属図書館

<<http://www.library.tohoku.ac.jp/guide/guide.html>>

各図書館室の利用案内へのリンクです。

## 1.2.2 図書館コレクション

東北大学附属図書館は、通常の学習・研究用資料のほか、非常に貴重で全国的にも有名な資料群（コレクション）を所蔵しています。「類聚國史 卷第二十五」「史記 孝文本紀 第十」という2点の資料は、国宝に指定されています。また、夏目漱石の旧蔵書・自筆資料などからなる漱石文庫、約10万点の古典籍からなり「江戸学の宝庫」と呼ばれる狩野文庫、約1万数千点からなる日本随一の和算関係資料なども著名なコレクションです（いずれも本館所蔵）。



図表 1-5 「漱石先生」岡本一平画 水彩 一幅（漱石文庫所蔵）

■ 『コレクション』 東北大学附属図書館

<<http://www.library.tohoku.ac.jp/collect/collect.html>>

東北大学附属図書館で所蔵している著名コレクションの紹介ページ。コレクション中の一部資料の画像閲覧や資料検索ができます。

### 1.2.3 図書館のサービス概要

#### (1) 資料の貸出・閲覧

図書館内の所蔵資料は、閲覧および館外貸出が可能です。また、貸出中資料の予約や、他キャンパス図書館で所蔵している図書の取り寄せも行っています。ただし、蔵書の中には研究室に置かれている資料もあります。それらの利用については、研究者の了解が必要となりますので、図書館カウンターに申請してください。

#### (2) 資料の検索

目的とする図書や雑誌がどこにあるのか、どのような図書があるのかを調べるには、図書館の**目録**を利用します。東北大学では、オンライン目録を用意していますので、まずは図書館にあるパソコンで検索してみてください。古い時代の資料については、カード目録も調べる必要があります。**3章参照**

雑誌論文や新聞記事を調べるためには、データベースを使います。データベースを検索することで、自分の必要としている事柄についてどんな論文・記事があるか、またそれらがどの雑誌や新聞に掲載されているかを調べることができ、その論文や記事を手に入れることができるようになります。**4章・5章参照**

#### (3) 情報収集の支援（レファレンス）

どのような文献があるか、ある事柄について何を調べたらよいのかなどについての支援を得るには、図書館員のいるカウンターに気軽に問い合わせてください。『MyLibrary』からオンラインで質問することもできます(**1.2.4(5)参照**)。使うべき資料やデータベース、その使い方などを説明します。

#### (4) 他の図書館からの資料入手（相互利用サービス）

いつも利用している図書館で求める資料が入手できない場合、その図書館を通じて他の大学図書館などから文献の複写を入手したり、資料そのものの貸出を受けたりすることができます。このサービスの利用には、複写料金や郵送料などがかかります。**付録7参照**

#### (5) 利用説明会・講習会

図書館の利用方法や、オンライン目録・データベースの使用方法を習得するための、説明会や講習会を開催しています。日時などの開催内容については、本館・分館の掲示板やウェブサイトで通知しています。

## 1.2.4 図書館ウェブサービス

東北大学では、インターネットで利用できるウェブサービスの整備を進めています。図書館ウェブサービスは、図書館ホームページから利用できるようになっていきます。

### (1) 図書館ホームページ

- パソコン用 <<http://www.library.tohoku.ac.jp/>>
- 携帯端末用 <<http://www.library.tohoku.ac.jp/mobile/>>

図書館ホームページでは、図書館から提供している情報検索などのウェブサービスへのリンクのほかに、利用案内や概要、お知らせなどの図書館に関する各種情報を提供しています。



図表 1-6 東北大学附属図書館ホームページ



## (2) オンライン目録

東北大学で所蔵している資料のオンライン目録は、『Online Catalog』と呼ばれます。『Online Catalog』には「基本検索」と「詳細検索」があり、学内蔵書だけでなく、学外（日本国内の大学図書館）の蔵書を含めて検索できます。3章参照

また、漱石文庫や狩野文庫などの各種コレクションごとのオンライン目録もあり、『学術情報ポータル』や『MyLibrary』内の「横断検索」で検索することができます。その資料の一部は電子化されており、ウェブで画像を見ることができます。

## (3) データベース（学内限定）

どのような文献があるのか、それがどの雑誌に掲載されているかなどを調べる時に使います。東北大学では、日本語文献を調べるためのデータベースは無論のこと、外国語文献を調べるためのデータベースを何種類も用意しています。また、新聞記事や百科事典などのデータベースもあります。4章・5章・7章参照

## (4) 電子ジャーナル（学内限定）

東北大学と出版社との契約で、ウェブで利用できるようになっている雑誌が電子ジャーナルです。学内であれば誰でもどこからでも利用できるようになっていますが、利用のルールに十分留意して利用する必要があります。4.4参照

## (5) オンラインサービス『MyLibrary』（学内利用者限定）

『MyLibrary』は、インターネットを通じて利用できる資料・検索ツール・図書館サービスなどを、自分の使いやすいように整理しておける、個人専用のウェブ上の図書館です。『MyLibrary』を経由して、自分の貸出・予約情報の確認、貸出期間の更新、文献複写・レファレンスの申込などを行うことができます。また、複数データベースの横断検索などの機能も備えています。図表 1-7 参照

## (6) リンク集

学習や研究上有益なウェブサイトを集めて、分野ごとに整理したリンク集を公開しています。

## (7) 図書館利用案内

開館日・開館時間、利用方法、館内案内、利用案内 FAQ（よくある質問と回答）など、図書館を利用する上での基本的な情報や、所蔵資料の内容説明をしています。

The screenshot shows the MyLibrary website in Microsoft Internet Explorer. The page title is "みやぎの はぎこ さんのMyLibrary". The interface includes a navigation menu, a main content area, and several sidebars. Callout boxes provide detailed descriptions for the following features:

- 図書館からのお知らせ (開館時間変更・新サービス案内・利用案内等)**: Information from the library, including notices about extended hours (延長★★).
- 図書館サービス (蔵書検索・各種申込・利用照会等)**: Library services such as online catalog search, loan status, document reproduction, and student library requests.
- 図書館カレンダー (図書館を選択)**: Library calendar for the main building and branch, showing dates for February and March 2007.
- 図書館・学術情報リンク (リストから選択)**: Links to library and academic information, including the Tohoku University Library.
- クイック検索 (Google 等)**: Quick search functionality using Google and other engines.
- ホームページリンク集 (任意の URL 登録)**: A collection of home page links, including "Information on Basic Knowledge of Information Search".
- SDI サービス (登録した検索語に合致した新着図書情報を、定期的にメール通知)**: Selective Dissemination of Information service for email notifications of new books matching search terms.
- 電子ジャーナル (リストから選択)**: Electronic journals, with a note about usage conditions and a list of journals like "Information Media Research" and "J-STAGE".
- 横断検索 (複数データベースの一括検索)**: Hybrid search functionality for simultaneous searching across multiple databases.

図表 1-7 東北大学附属図書館『MyLibrary』



## まめちしき インターネット利用のマナー

図書館の資料や設備は皆さんが共同で使うものなので、常識をわきまえて利用する必要があります。ウェブサービスや電子メールを利用する際も、同じようなマナーがあり、決して行ってはならないことがあります。具体的には、電子ジャーナルの論文を大量にダウンロードしたりする「著作権」を侵害する行為、公開された掲示板などで他者を誹謗・中傷する行為などがそれにあたります。

東北大学からそのような行為がなされた場合、電子ジャーナルの供給が停止されるなど、大学全体の学習・研究活動に多大な影響を及ぼすことになります。決してそのような行為をすることのないよう、マナーを遵守してください。

一般的なマナーに関しては次のウェブサイトで紹介していますので、参考にしてください。

- 『インターネットを利用する方のためのルール&マナー集』  
財団法人インターネット協会  
<<http://www.iajapan.org/rule/rule4general/main.html>>